



令和3年9月28日
佛教大学附属幼稚園

「仏教保育 10月のねらい」
同時協力

「自分に勝つ」

園長 佐藤 和順

朝夕に吹く風に秋らしさを感じる季節となりました。今年の夏は猛暑に始まり、豪雨による河川の氾濫や土砂災害等が各地で大きな被害をもたらしました。被災地の一日も早い復興とコロナ禍の収束を願うばかりです。そのような状況下で、オリンピック・パラリンピックが開催されました。本園の卒園児を含め、日本選手の活躍は少し社会に明るい雰囲気をもたらしてくれたように思います。スポーツの力を感じることができました。園でもいろいろな秋を子ども達は経験しますが、今月行われる運動会は「スポーツの秋」の代表的行事ともいえるでしょう。

今月の保育の目標は「同時協力（どうじきょうりょく）お互い助け合う」です。一人でできないことも、二人ならできます。二人でできないことも、大勢ならできます。皆で助け合うことによって思いもかけない大きなこと、経験ができることを学んでほしいと思っています。

運動会の練習ではまさにこの同時協力が実践され、遊戯、団体競技等で協力して取り組む姿がみられることでしょう。個人競技であっても、「声援」という形で友だちを励ますことにより、助け合うことや、協力することの大切さが自然に身についています。

私たちはついつい、他の人と比較して、その結果を気にしてしまいます。運動会の順位などもその一つでしょう。他の人との競争に勝つのは格好がいいし、気分がいいかもしれませんが、本来は誰にも勝てなくても気にすることはないのです。精一杯頑張っても勝てなかったら、仕方がありません。本当に大切なのは、すぐあきらめたり、くじけたりしないことです。心の中にある「弱い自分」に勝つことです。勝つことから学ぶこともありますが、負けたことから学ぶこともあるのです。あきらめなくて最後まで頑張るその姿に、声援を送りたいものです。

運動会のみならず日々の生活の中でもすぐあきらめたり、くじけたりしないこと、友だちと仲良く協力することを子ども達には経験してほしいと願っています。この秋、日々の保育や行事が子どもにとって実り多き収穫になることを願いながら、保育者自身も子どもと思いを共有し充実した園生活を過ごしていきたいと思っています。

